

2年1組8班の活動報告です。 石田香乃 上村杏優 塚本なおみ
堀江修右 森藤大翔

◇ 研究テーマ「プラスチックごみを減らすために」

プラスチックの無駄遣いや過剰包装による問題について調査する。

【関連するSDGs (アイコン)】



◇ 実践したこと (フィールドワークなどで調べて分かったこと)



↑カフェマビッシュ

カフェマビッシュのオンラインセミナーでプラスチックの問題について知った。新型コロナウイルスをきっかけにテイクアウトを始めたところ、ビニール袋やプラスチック性のテイクアウト用スプーン・フォークの消費が多くなり、ごみが増えているのではないかと困っている様子だった。

その後、インターネットなどを利用して調査を進めたところ、世界的にもプラスチックごみについて問題になっているようだった。特に日本では過剰包装が問題となっている。日本の1人当たりのプラスチックごみの発生量は世界2位と言われており、プラスチックごみ中の容器包装の割合は67.6%というデータもある。これは、世界平均を20%も上回っている。意外と身近な問題なのだと感じた。

◇ 提案



これらの問題について解決するためにフリーバッグという取り組みを提案する。

フリーバッグとは、みんなで使えるエコバッグを意味します。町のどこかに回収ボックスを設置して、店で使った後はボックスで回収することでプラスチックごみを減らす。

バッグだけでなく食器やカトラリーもフリーで使えるようにすれば、さらに効果が期待されると考える。

◇ 活動を通じて考えたこと

今回研究した問題について、いきなり世界を変えることは大変かもしれないが、これからは自分が意識することで世界が良い方向に変わるといいなと思った。(杏優)

活動で調べてきた多くの問題は、普段の生活の中のほんの少しの行動で変えていけるものだと思う。今回の活動を生かして環境問題を意識して生活できるようにしたい。(香乃)

プラスチックごみの問題は意識しないと気付かないが、意識をするとすごく身近な問題だとわかるので普段から自分にできることをやっていきたいです。(大翔)

プラスチックごみの問題は身近なことで、少しのことで変わることがわかったから、意識して過ごしたいと思った。(修右)

今回ごみの問題について調べてみて、自分達のできることは小さいことだけれど、一人一人が意識することによって変わっていくと思うので、日常生活から意識していきたいと思った。(なおみ)